

## 平成 29 年度 新潟県立十日町高等学校 シラバス

教科名	科目名	学科・学年・類型	単位数
公民	倫理総合	普通科 3年	2
教科書 副教材等	[主たる教材] 高等学校 新倫理 最新版 (清水書院) [副教材] 詳説 世界史 (山川出版社) 政治・経済 (東京書籍)		

## 1 科目の目標

- ①世界の倫理思想を歴史的視点から体系的に学習することにより、人間や社会について広く、深く理解し、学習したことを自らの人間形成に生かす。
- ②倫理思想を現代の政治・経済・社会の諸問題に落とし込んで学習し、それらの問題をどのように解決していったらよいか考える。

## 2 科目の内容

- (1) 世界の倫理思想の通事的研究  
 (2) 世界の倫理思想の比較研究  
 (3) 世界の倫理思想のテーマ別研究  
 (4) 現代社会の諸課題をテーマとした課題研究

## 3 授業計画

月	内 容	配当時間	指導上の留意点
4月 5月	○「世界の倫理思想の系譜」 ・西洋思想 ・東洋思想 ・日本の思想 1学期期中間考査	9	・世界の倫理思想を体系的に理解させる。
5月 6月 7月	○「世界の倫理思想の時代別比較」 ・古代 (源流思想) ・中世 ・近世・近代 ・現代 1学期期末考査	13	・倫理思想の学習から生きるヒントを見つけさせる。
7月 9月 10月	○「テーマ別世界の倫理思想」 ・個人と集団 ・自由 ・平等 ・私と公共 ・愛 ・自然 ・正義 ・幸福 ・労働 2学期期中間考査	18	・現代社会の諸問題について関心をもたせる。
10月 11月 12月	○「現代社会の諸問題」 ・現代の家族とその課題 ・地域社会の変容と共生 ・情報社会とその課題 ・グローバル化の時代と倫理 ・人類の福祉と国際平和 2学期期末考査 ○「生き方探究」 ・どんな人間になりたいか ・どんな仕事をしたいか	18	・復習レポートでメタ認知力・編集力の養成に努める。

1月	○「生き方探究」 ・社会や上級学校で何を学ぶか ・ただ生きるのではなくよく生きるにはどうしたらよいか ・人生のテーマを1つに絞り込めば… レポート	12	・協調的な学びを通し、多様な考え方を尊重する力を育てる。
2月			
3月			

計 70 時間 (55 分授業)

## 4 学習評価

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
評価の 観点 ・ 規準	・学んだ知識を自らの向上や社会問題の解決のために役立てようとしている。	・学んだことを深め、自分の生き方に活かそうとしている。 ・ものごとを他者や社会からの視点でも考えることができる。	・教科書・資料集・ワークシートを参考にして学んだ内容を文章で整理できる。	倫理思想や社会の諸問題を体系的に理解している。
評価 方法	・討論や発表への参加状況 ・復習レポートの提出状況	・定期考査 ・復習レポートの内容	・定期考査 ・復習レポートの内容	・定期考査 ・復習レポートの内容

## 5 担当教員

公民科教諭

## 6 担当者からのメッセージ

「倫理」で扱う内容は、社会や人々との関係において、人としての在り方生き方に関わるものがほとんどです。だからこそ、授業をとおして「自分ならどうするか、どう行動するか」ということを意識しながら学習に取り組みましょう。また、「考える」ためには先人の思想を学ぶだけではなく、他者の意見や考えを参考にしたり、自分の意見を他者に理解してもらうことも大切です。他者と共に生きる主体として、一緒に学びを深めていきましょう。